



借金返済のため身を捧げた侯爵令息の
体を開発するのに王はとても熱心だ

妹がはまっている乙女ゲームのキャラに借金を背負ったのがある。

たかがゲームなれど「そんなやつとでは幸せになれないぞ！」と結婚を反対したのだが、まさか転生して、その侯爵令息、カミールになるとは。

当事者になればヒロインにかまっていられず、資金繰りに奔走する日々。
が、もともとの設定どおり切望的な状況で、迫りくる返済期限。

「もう心中するか」と父は遠い目をしたものだが、そのとき朗報が。

なんと王が助けてくれるという。

ただし条件として俺に愛人になれと。

一生、王のそばにいて城からでられず、結婚もできないということだ。

果たして、親はためらわず俺を生贄に。

まあ、世継ぎには優秀な弟がいたし。

さて城にはいった俺は、王と面会。

ゲームではのっぺらぼうだったのが、四十代くらいの髭が似合うダン
ディーなおじさま。

「よかった、禿で脂ぎった親父じゃなくて・・・」とほっとしたのも
つかの間、その日から早速、夜のお相手を。

いや、前世は童貞の高校生、今は結婚前の侯爵令息とあって（婚前交渉はタブーの世界）夜のお相手というよりは、まずは体の開発を。

はじめに開発にとりかかったのは胸。

片方にオイルをつけて、両方を指で撫でてつまんで揉んで弾いて引っぱって。